

日本の古き良き文化を伝え、縁を結ぶ

かなざわみずひき × ひらおかゆいのう ほ
金沢水引 × 平岡結納舗 [石川県金沢市]

古くから贈り物に用いられ、現在も冠婚葬祭に欠かせない水引。その起源は飛鳥時代、小野妹子が隋から持ち帰った贈り物に航海の無事を祈って紅白の麻紐がかけられていたことから、それ以降宮中では献上品や贈答品に紅白の紐を結ぶようになったといわれています。金沢市の尾山神社近くに本店を構える平岡結納舗は、その名の通り両家の婚約成立を祝う結納の儀式に携わってきました。両家の縁を結ぶ証となる結納品を彩る水引は、長寿や繁栄、幸福などの願いを込めて、一つ一つ丁寧に作られています。繊細で華やかな細水引を使い、顧客の要望に合わせて制作していく「かわゆいのう」は、伝統を守りながらも現代の婚礼行事に合わせたコンパクトな結納の形を提案しています。



● 鳳凰

立体的に作られた緻密で美しい水引細工。細工に使われる水引は、細長く切った和紙を擦って紐状にした「こより」に水のりを引いて乾かし固めて作っている。



● 鶴

2代目が制作した鶴をモチーフとした水引。



● 松竹梅

水引には、その結び方や色、本数によって、さまざまな意味が込められている。



● 箸置き

現代のライフスタイルにも取り入れやすい水引を使った雑貨も作っている。



カラフルな水引を使い、イヤリングやブローチなどのアクセサリーのほか、金封飾りなどの制作体験も行っている(要予約)。



平岡結納舗

1915(大正4)年、初代である平岡重吉が金沢市尾山町にある元料亭の建物に移り住み、着物の帯を締める組紐制作を始める。その後、2代目が結納業を始めて以来、当地で延べ8000組以上の婚礼行事に携わっている。現在は、2018年に事業を承継した3代目が水引文化を守り伝えている。

石川県金沢市尾山町10-11 TEL:076-231-6770
営業時間/10:00~16:00 定休日/火曜日
<https://www.hiraokayuinoou.com>

紹介動画は
こちらから